

【参考資料】

連携事例集

【参考資料】 目次

サービス・活動

1. 外国人材の居住確保および良好なコミュニティ形成の支援 . . . 1
2. IoT技術を活用した高齢者等の見守り支援サービス . . . 1
3. 学生の安定的な居住と地域コミュニティの活性化の推進 . . . 2
4. 地域コミュニティの活性化および次世代を育むまちづくりの実現 . . . 2

ストック資産の活用

5. 障がい者施設との連携による高齢者の生活支援 . . . 3
6. 高齢者の生活支援およびコミュニティ形成の支援 . . . 3
7. DIYの普及推進と高齢者の生きがいづくり . . . 3
8. スマートエイジング・シティの実現に向けた取り組みの推進 . . . 4
9. 行政が行う実証プロジェクトへの協力① . . . 5
10. 行政が行う実証プロジェクトへの協力② . . . 5
11. 行政が行う実証プロジェクトへの協力③ . . . 6

サービス・活動【生活支援サービス】 【コミュニティイベント】

1. 外国人材の居住確保および良好なコミュニティ形成の支援

パートナー	公益財団法人 大阪府国際交流財団	
事業開始	2019年7月5日 (包括連携協定を締結)	
実施場所	公社窓口 (北浜・千里・泉北)等	
目的	住宅確保要配慮者である外国人(留学生および労働者等)の居住支援(住宅の確保、住まい・くらしの相談)と公社賃貸住宅および周辺地域の住民同士の良好なコミュニティ形成を通じた多文化共生をめざす	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 外国人労働者を受け入れる企業等との法人契約やハウスシェアリングも可能な公社賃貸住宅の紹介。 公社窓口で三者通話電話(トリオフォン)を用いて11言語に対応し、外国人の入居を支援。 2023年12月、全住戸のうち約1割が外国人入居者の招提団地にて、同団地に暮らす多くの外国人を雇用している法人の協力を得て、各国料理の食べ比べやクイズを通して交流しあうイベントを実施した。 	

サービス・活動【生活支援サービス】

2. IoT技術を活用した高齢者等の見守り支援サービス

パートナー	<ul style="list-style-type: none"> 株式会社Roots 京セラコミュニケーション株式会社 	
事業開始	2021年3月25日	
実施場所	全公社賃貸住宅	
目的	IoTネットワーク「Sigfox」と振動センサデバイスによる見守りサービスにより、高齢者が住み慣れた地域・住まいで安心して暮らし続けられることをめざす	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> (株)Rootsと共同で開発した振動センサデバイス「ミマリオ」による見守りサービスを提供。 冷蔵庫等の開閉をミマリオが感知し、離れて暮らす親族等に自動的にメール送信を行う。 「シンプル・安心・安価」をコンセプトに監視されているという抵抗感をなくし高齢者の生活をゆるやかに見守ることができる。 	

サービス・活動【コミュニティイベント】

3. 学生の安定的な居住と地域コミュニティの活性化の推進

パートナー	桃山学院教育大学
事業開始	2019年3月8日 (包括連携協定を締結)
実施場所	泉北ニュータウン (堺市南区)



目的 公社賃貸住宅内のコミュニティ活性化をめざして、学生の入居を促進する
また、学習環境と居住安定の確保を図るとともに、経済的負担を軽減する

- 事業内容** ※
- ・ 茶山台団地の4・5階に入居した学生を対象に、家賃を20%減額し、学生の負担軽減と入居促進のモデルとして実施。2021年3月からは、『スマリオの学割』として本格実施し、泉北ニュータウン地域内に所在する中層団地の4・5階を対象に家賃の25%を減額している。
 - ・ 茶山台団地のコミュニティ拠点や自治会活動等への参加を促進し、高齢化が進む団地の活性化と地域の課題解決を図る。
 - ・ 集会所等での学生による講義やワークショップの開催など、子どもの学習の場づくりや学生との多世代交流イベントやつどいの場づくりを行う。

※ 検討中のものを含む

サービス・活動【コミュニティイベント】 【情報発信】

4. 地域コミュニティの活性化および次世代を育むまちづくりの実現

パートナー	大阪電気通信大学 寝屋川市
事業開始	2023年2月21日 (包括連携協定を締結)
実施場所	香里三井団地 (寝屋川市三井が丘)

ニコニコのデザイン
ウェブサイトはこちら



目的 寝屋川市三井が丘に位置する公社賃貸住宅および周辺地域における、住まい・まちづくりに関する地域課題に対し、学生と住民の交流を通じて活力ある個性豊かな地域社会の形成と発展に取り組む

- 事業内容** ※
- ・ 団地と地域コミュニティの拠点として、笑顔あふれる暮らしを実現したい！と「ニコニコのデザイン」プロジェクトと名付けた学生や住民、地域の事業者との協働による団地再生の活動を展開。
 - ・ 学生によるアンケート、ワークショップ等を利用した団地の魅力や課題の調査・研究、住民との交流イベントの開催。
 - ・ 学生からの提案をもとに集会所を活用した多世代交流拠点づくりなどハード面の取り組みの検討。
 - ・ 活動を発信するウェブサイトやSNSを2023年5月に公開。学生運営のSNSも活用し団地の魅力や活動の様子等を発信している。

※ 検討中のものを含む

ストック資産の活用【住戸】

5. 障がい者施設との連携による高齢者の生活支援

パートナー NPO法人チュラキューブ

事業開始 2018年7月25日
(事業連携協定を締結)

実施場所 OPH杉本町
(大阪市住吉区杉本町)



目的

単身高齢者等の孤立孤食の防止や地域住民との交流促進および障がい者の働く場をつくること

事業内容

- 公社賃貸住宅のOPH杉本町の空家の1室を「杉本町みんな食堂」として活用し、高齢者をはじめ地域住民に1食400円の健康的な食事を提供している。調理・給仕を担当するのは、障がいのあるスタッフで、常連の利用者らが食事をしながら温かく見守る関係が生まれている。
- 2023年1月からは、同団地の集会所を利用した「みんなカフェ」も開設。住民らがコーヒーやスイーツを楽しみながらにゆったりと過ごすことのできる交流の場となっている。

ストック資産の活用【住戸】

6. 高齢者の生活支援およびコミュニティ形成の支援

パートナー NPO法人SEIN（サイン）

事業開始 2018年11月5日
(事業連携協定を締結)

実施場所 茶山台団地
(堺市南区茶山台)



目的

入居者の高齢化が進む茶山台団地の1室で惣菜販売を通じて高齢者等の買い物支援を行うとともに、楽しく食事ができるスペースで孤食を防ぎ、健康寿命の延伸につなげる

事業内容

- 茶山台団地の1室を活用した「やまわけキッチン」は、惣菜の持ち帰りのほかにイートインスペースもあり、ご飯を食べながら会話が弾むコミュニティスペースとしても活用されている。
- 地元の商品や野菜などを置く販売コーナーも併設。地域の活動や生活に関する情報も発信している。

ストック資産の活用【住戸】

7. DIYの普及推進と高齢者の生きがづくり

パートナー 株式会社カザールホーム

事業開始 2019年2月12日
(事業連携協定を締結)

実施場所 茶山台団地
(堺市南区茶山台)

目的 DIY相談やサポート機能の提供による団地のDIY推進とリタイア後のシニア男性の趣味や生きがづくりにつながる形でのコミュニティビジネスの実現

事業内容

- 茶山台団地の住戸4室を改装し、DIYをテーマとしたコミュニティスペース「DIYのいえ」を開設。工具などを備えたワークスペースが団地内外の誰でも無料で利用可能なほか、DIYや住まいに関する相談受付やDIYパーツを販売。またDIY関連のワークショップやセミナーも随時開催。
- DIYを通して近隣のまちづくりイベントなどにも積極的に参加している。



ストック資産の活用【住戸】

8. スマートエイジング・シティの実現に向けた取り組みの推進

パートナー 社会医療法人生長会、帝塚山学院大学、
社会福祉法人よしみ会グランドオーク百寿、
NPO法人団地ライフラボat茶山台

事業開始 2023年10月3日
(連携協定を締結)

実施場所 茶山台団地
(堺市南区茶山台)

目的 2016年10月から団地集会所で実施していた「まちかど保健室」をより地域に根差した活動へと発展させるため、団地内の空き室に常設拠点「茶山台ほけんしつ」を開設し、地域のコミュニティ活性化や健康寿命延伸をめざす

事業内容

上記パートナー団体が曜日ごとに健康や生活を支援するための様々なサービスを提供する。

まちかど保健室：看護師や理学療法士等による健康チェックや健康に関する講義を提供。

出張オークカフェ：特別養護老人ホーム「グランドオーク百寿」に併設するカフェの出張版。

みんなの保健室：日常的に住民と接しながら、健康・子育て相談やリラクゼーション等を通じて暮らしのサポートを行う。



ストック資産の活用【敷地等の共用部】

9. 行政が行う実証プロジェクトへの協力①

パートナー 堺市、豊中市、池田市、
大阪市東住吉区、吹田市、東大阪市

実施場所 (堺市) 4 団地および 1 施設
(豊中市) 3 団地
(池田市) 1 団地
(大阪市東住吉区) 2 団地
(吹田市) 3 団地
(東大阪市) 2 団地



目的 地域のまちづくりへの貢献と社会課題の解決を図るため、各市が実施するシェアサイクル実証実験に協力
公社賃貸住宅および周辺地域の住民の利便性向上への有効性を検証し、本格実施に向け検討を行う

事業内容

- 公社賃貸住宅内にシェアサイクル・ポートを設置し、電車・バスに代わる第3の交通インフラとして利用を促進。
- 堺市および豊中市については、実証実験での効果が公共交通の補完や地域の活性化に有効であったため、本格実施として事業を継続。

ストック資産の活用【敷地等の共用部】

10. 行政が行う実証プロジェクトへの協力②

パートナー 豊中市

事業開始 2021年1月12日～2月9日

実施場所 豊中団地・豊中B団地
(豊中市服部本町)



目的 ウィズコロナ時代の新しいにぎわいづくりの創出や新たなまちの魅力の可能性を探ることを目的に、豊中市の「公園・住宅団地へのキッチンカー提供の社会実験」と連携し、キッチンカーの誘致を実施

事業内容

- 公社賃貸住宅の敷地を活用し、週1回（火曜日）出展事業者を募り、公社賃貸住宅および周辺地域の住民が公共交通機関を使わず徒歩で行けるような生活圏内で気軽に食事が楽しめる機会を提供。
- 本格実施として事業を継続。

11. 行政が行う実証プロジェクトへの協力③

パートナー 堺市

事業開始 2022年6月1日～15日

実施場所 原山台団地
(堺市南区原山台)



目的

地形の高低差が大きい地域である泉北ニュータウンにおいて、徒歩移動に困難を抱える高齢者等の買い物難民や外出機会の減少等の課題解決に向け、電動カートのシェアリングサービスの有効性を図るため、堺市が実施する実証プロジェクトに協力

事業内容

- 電動カートの貸出ポートの設置場所として、公社賃貸住宅の敷地の一部を提供。
- 実証データと実態調査結果等をもとに、入居者への新たなモビリティサービスの可能性を検討。

お問い合わせ

連携事業のご提案やご相談は連携デスクまでご連絡ください。

【大阪府住宅供給公社 連携デスク】 企画課 事業開発グループ

〒541-0042

大阪府中央区今橋2丁目3番21号

電話：06-6203-5452

メール：innovation-suishin@osaka-kousha.or.jp

HP：[https://www.osaka-kousha.or.jp/x-info/
cooperation.html](https://www.osaka-kousha.or.jp/x-info/cooperation.html)

